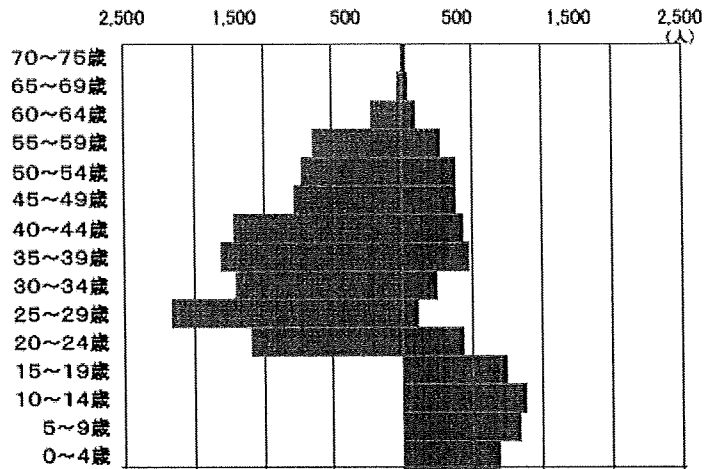
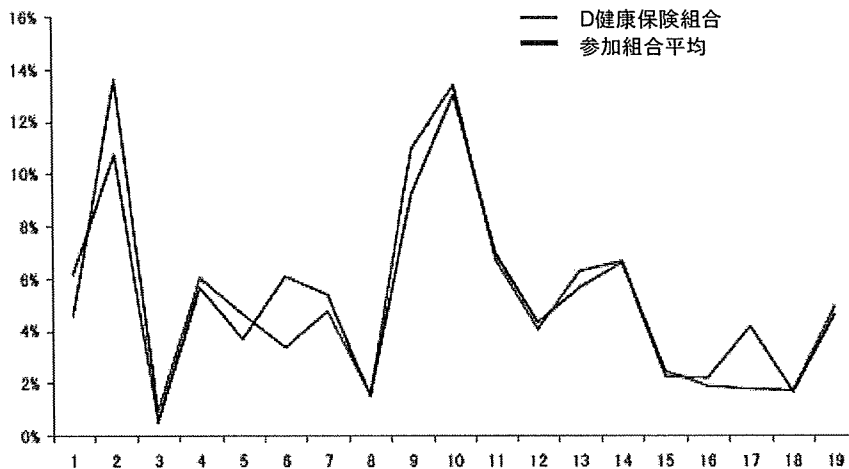


## D 健康保険組合の基本情報

平均年齢 (被保/ 被扶): 37.6/ 24.8 歳 n=18,579



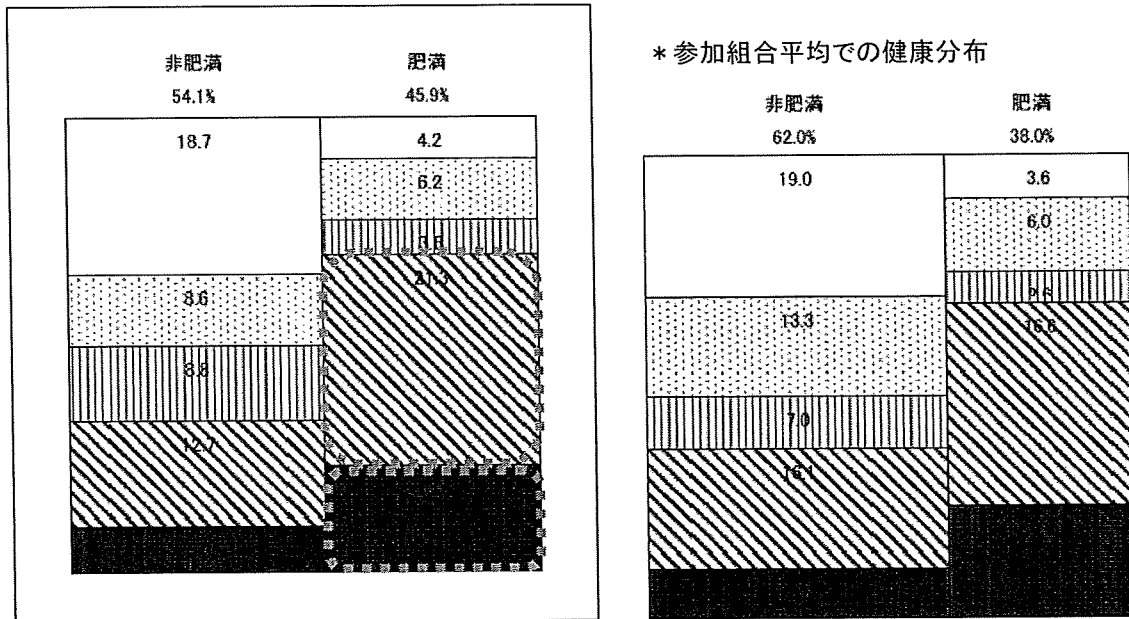
### 疾病分類別医療費



|    |                      |    |                                 |
|----|----------------------|----|---------------------------------|
| 1  | 感染症及び寄生虫症            | 11 | 消化器系の疾患                         |
| 2  | 新生物                  | 12 | 皮膚及び皮下組織の疾患                     |
| 3  | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 13 | 筋骨格系及び結合組織の疾患                   |
| 4  | 内分泌、栄養及び代謝疾患         | 14 | 腎尿路生殖器系の疾患                      |
| 5  | 精神及び行動の障害            | 15 | 妊娠、分娩及び産じょく                     |
| 6  | 神経系の疾患               | 16 | 周産期に発生した病態                      |
| 7  | 眼及び付属器の疾患            | 17 | 先天奇形、変形及び染色体異常                  |
| 8  | 耳及び乳様突起の疾患           | 18 | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| 9  | 循環器系の疾患              | 19 | 損傷、中毒及びその他の外因の影響                |
| 10 | 呼吸器系の疾患              |    |                                 |

なお疾病分類番号 11 に含まれる「う蝕」は健保によって集計基準が異なるため、比較に際して除いた形で集計している

D 健康保険組合における健康分布

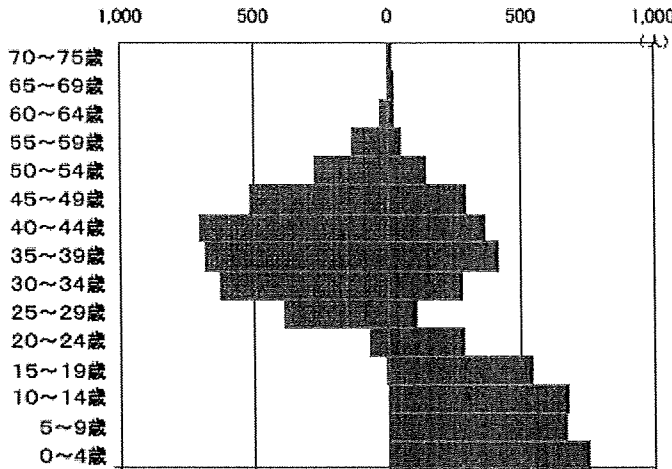


当該健保組合は、参加組合平均と比較すると肥満の割合が非常に高く、特に高リスク者が放置されており、医療費増の予兆がうかがえる。循環器の医療費は既に顕在化している。

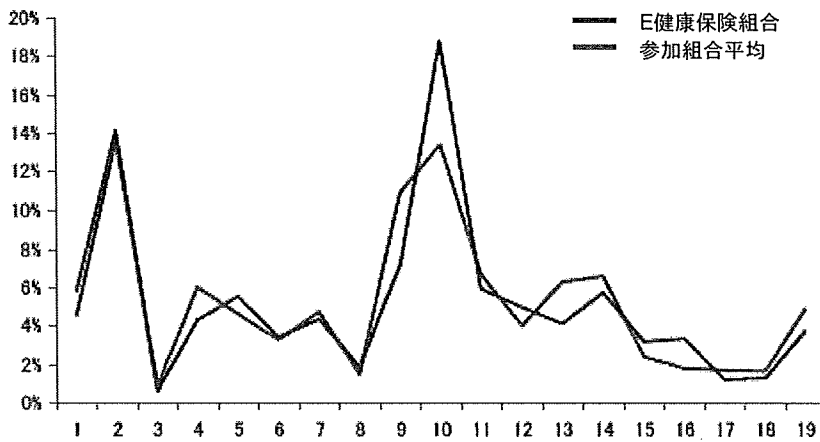
- ・高リスク者対策；放置されている高リスク者の行動変容（受診勧奨の徹底）が必要
- ・重症化防止対策；肥満の服薬者が多く、生活習慣病患者への行動変容（服薬コンプライアンス、生活習慣改善の継続）を重視

E 健康保険組合の基本情報

平均年齢 (被保/ 被扶): 39.4/ 21.6 歳 n=8,058



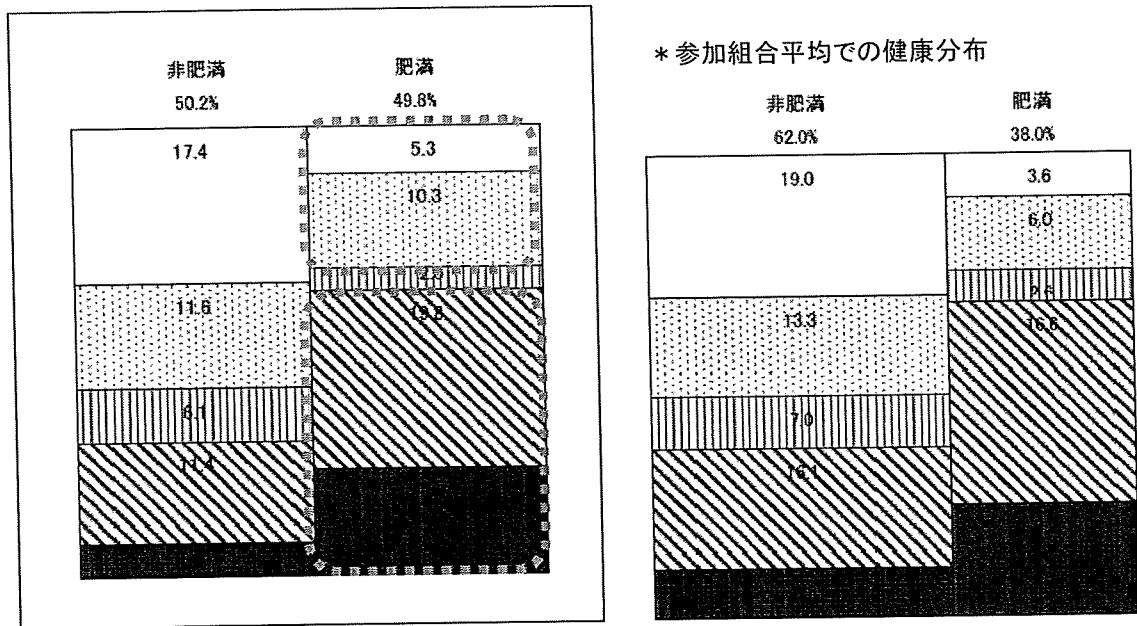
疾病分類別医療費



|    |                      |    |                                 |
|----|----------------------|----|---------------------------------|
| 1  | 感染症及び寄生虫症            | 11 | 消化器系の疾患                         |
| 2  | 新生物                  | 12 | 皮膚及び皮下組織の疾患                     |
| 3  | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 13 | 筋骨格系及び結合組織の疾患                   |
| 4  | 内分泌、栄養及び代謝疾患         | 14 | 腎尿路生殖系系の疾患                      |
| 5  | 精神及び行動の障害            | 15 | 妊娠、分娩及び産じょく                     |
| 6  | 神経系の疾患               | 16 | 周産期に発生した病態                      |
| 7  | 眼及び付属器の疾患            | 17 | 先天奇形、変形及び染色体異常                  |
| 8  | 耳及び乳腺突起の疾患           | 18 | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| 9  | 循環器系の疾患              | 19 | 損傷、中毒及びその他の外因の影響                |
| 10 | 呼吸器系の疾患              |    |                                 |

なお疾病分類番号 11 に含まれる「う蝕」は健保によって集計基準が異なるため、比較に際して除いた形で集計している

E 健康保険組合における健康分布

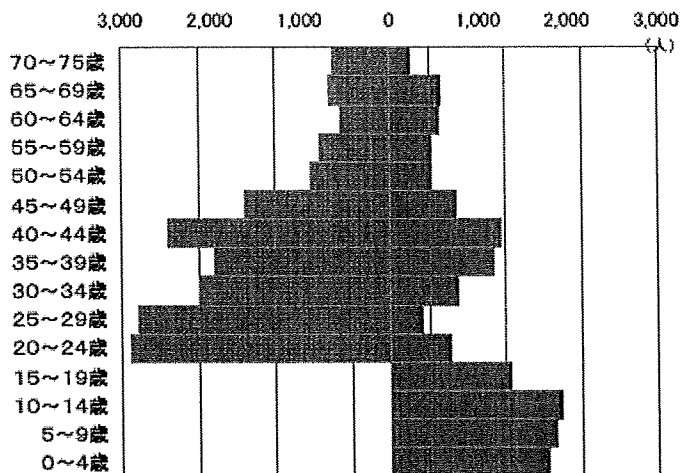


当該健保組合は、参加組合平均と比較すると肥満の割合が非常に高く、高リスク者および服薬者も多くなっている。

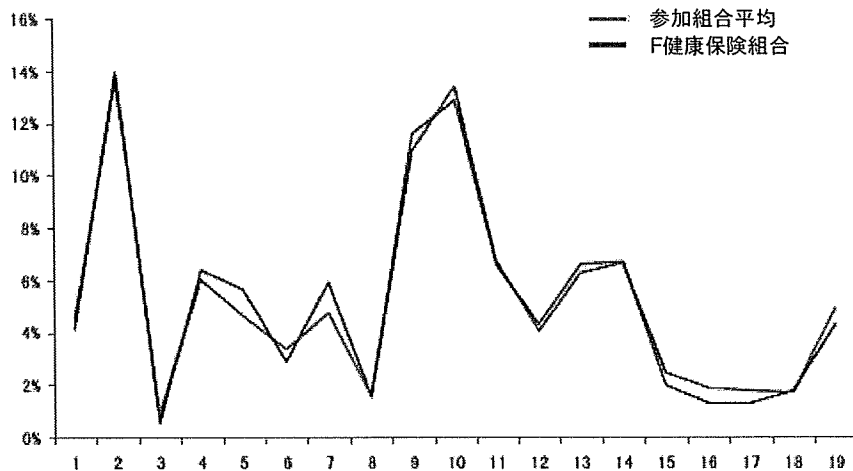
- ・高リスク者対策；放置されている高リスク者の行動変容（受診勧奨の徹底）が必要
- ・メタボリックシンドローム対策；軽度肥満も多く、30代、40代が被保険者のボリュームゾーンであることから、若年層からの意識啓発（情報提供）と40代以降での行動変容（罹患防止およびメタボ改善）を重視

F 健康保険組合の基本情報

平均年齢 (被保/ 被扶): 38.9/ 26.9 歳 n=31,571



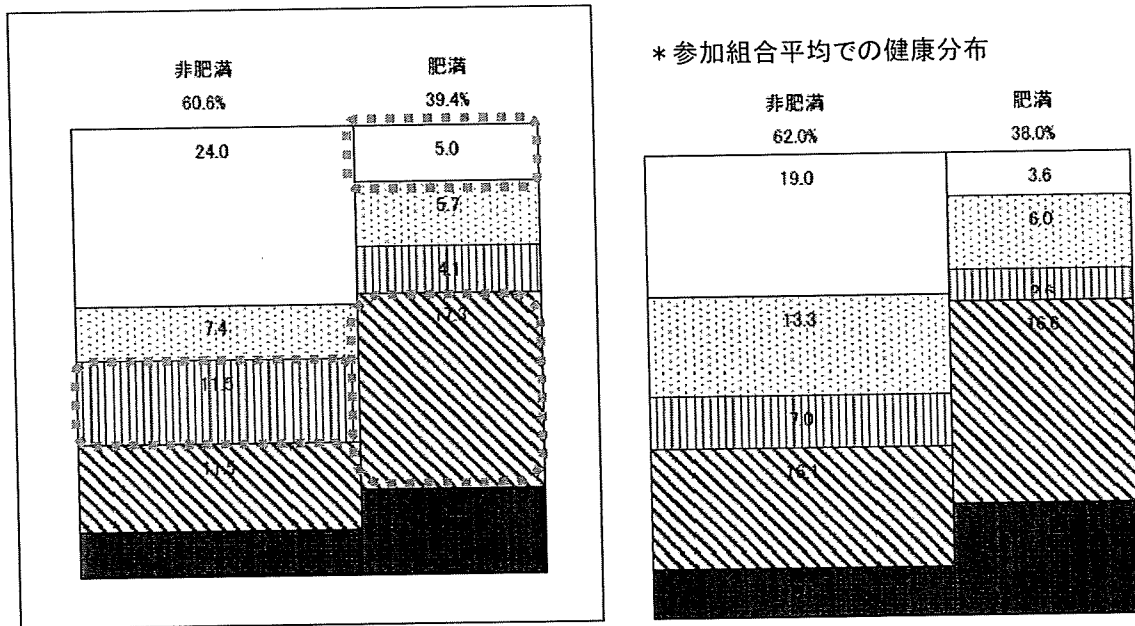
疾病分類別医療費



|    |                      |    |                                 |
|----|----------------------|----|---------------------------------|
| 1  | 感染症及び寄生虫症            | 11 | 消化器系の疾患                         |
| 2  | 新生物                  | 12 | 皮膚及び皮下組織の疾患                     |
| 3  | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 13 | 筋骨格系及び結合組織の疾患                   |
| 4  | 内分泌、栄養及び代謝疾患         | 14 | 腎尿路生殖器系の疾患                      |
| 5  | 精神及び行動の障害            | 15 | 妊娠、分娩及び産じょく                     |
| 6  | 神経系の疾患               | 16 | 周産期に発生した病態                      |
| 7  | 眼及び付属器の疾患            | 17 | 先天奇形、変形及び染色体異常                  |
| 8  | 耳及び乳様突起の疾患           | 18 | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| 9  | 循環器系の疾患              | 19 | 損傷、中毒及びその他の外因の影響                |
| 10 | 呼吸器系の疾患              |    |                                 |

なお疾病分類番号 11 に含まれる「う蝕」は健保によって集計基準が異なるため、比較に際して除いた形で集計している

F 健康保険組合における健康分布

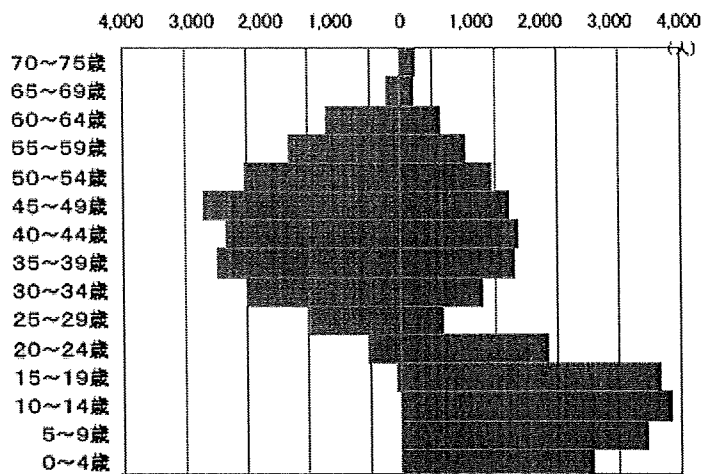


当該健保組合は、参加組合平均と比較すると肥満の割合がやや高く、被保険者では 20 代、40 代の割合が高くなっている。

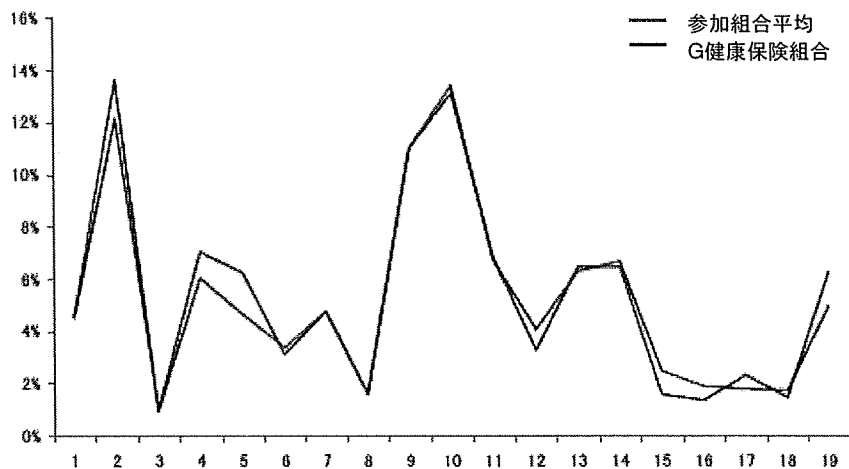
- ・高リスク者対策；高リスク者（冠動脈疾患以外のリスク者含む）への行動変容（受診勧奨の徹底）が必要
- ・メタボリックシンドローム対策；軽度肥満も多く、40 代が被保険者のひとつのボリュームゾーンであることから、若年層からの意識啓発（情報提供）と行動変容（罹患防止）を重視

G 健康保険組合の基本情報

平均年齢 (被保/ 被扶): 43.2/ 24.1 歳 n=42,694



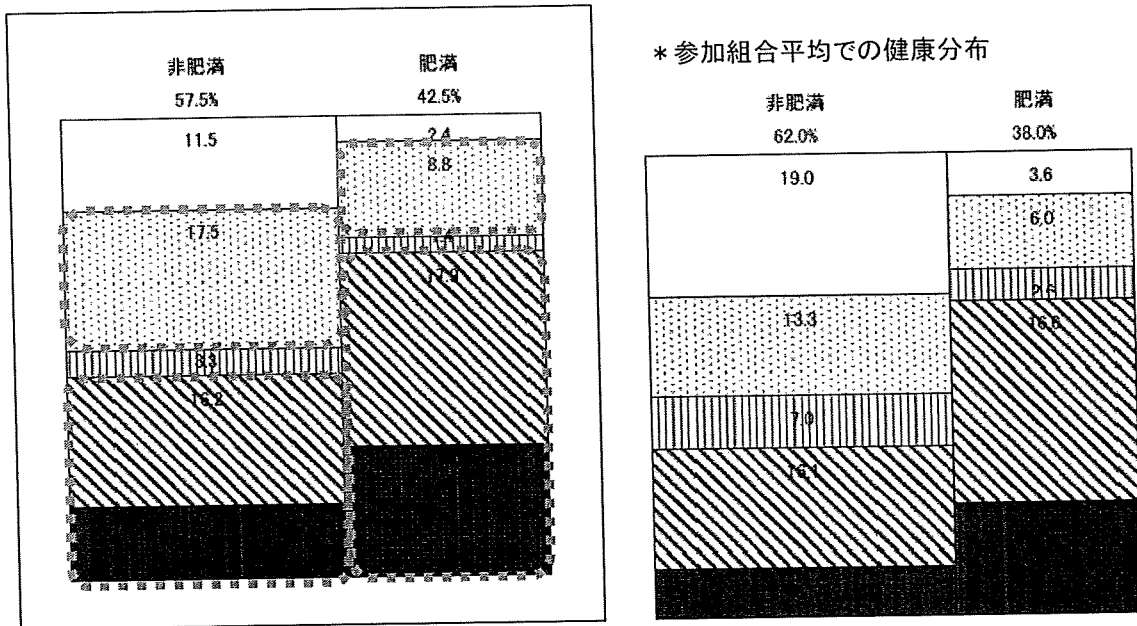
疾病分類別医療費



|    |                      |    |                                 |
|----|----------------------|----|---------------------------------|
| 1  | 感染症及び寄生虫症            | 11 | 消化器系の疾患                         |
| 2  | 新生物                  | 12 | 皮膚及び皮下組織の疾患                     |
| 3  | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 13 | 筋骨格系及び結合組織の疾患                   |
| 4  | 内分泌、栄養及び代謝疾患         | 14 | 腎尿路生殖器系の疾患                      |
| 5  | 精神及び行動の障害            | 15 | 妊娠、分娩及び産じょく                     |
| 6  | 神経系の疾患               | 16 | 周産期に発生した病態                      |
| 7  | 眼及び付属器の疾患            | 17 | 先天奇形、変形及び染色体異常                  |
| 8  | 耳及び乳様突起の疾患           | 18 | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| 9  | 循環器系の疾患              | 19 | 損傷、中毒及びその他の外因の影響                |
| 10 | 呼吸器系の疾患              |    |                                 |

なお疾病分類番号 11 に含まれる「う蝕」は健保によって集計基準が異なるため、比較に際して除いた形で集計している

G 健康保険組合における健康分布



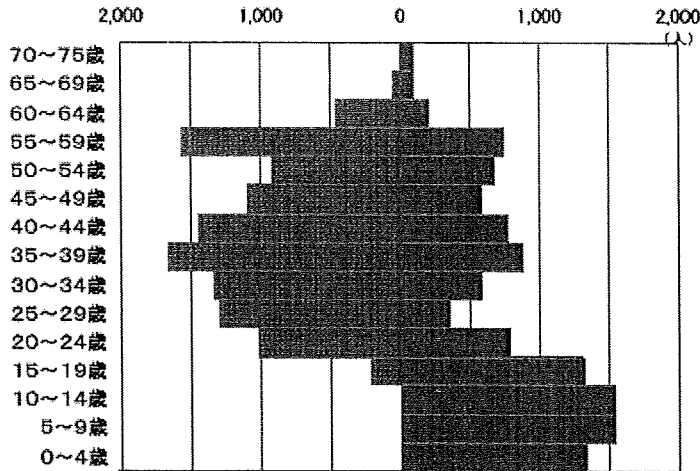
当該健保組合は、参加組合平均と比較すると肥満の割合が高く、肥満、非肥満ともに低リスク者および高リスク者を多く抱えており、被保険者の平均年齢は高めである。高脂血症、糖尿病の医療費の顕在化がうかがえる。

- ・高リスク者対策；肥満・非肥満の高リスク者の行動変容（受診勧奨の徹底）が必要
- ・メタボリックシンドローム対策；30代後半から40代後半が被保険者のボリュームゾーンであることから、若年層からの意識啓発（情報提供）と40代以降での行動変容（罹患防止およびメタボ改善）を重視
- ・被保険者全体の意識啓発；リスクがない者が15%程度であることから、被保険者全体への意識啓発が課題

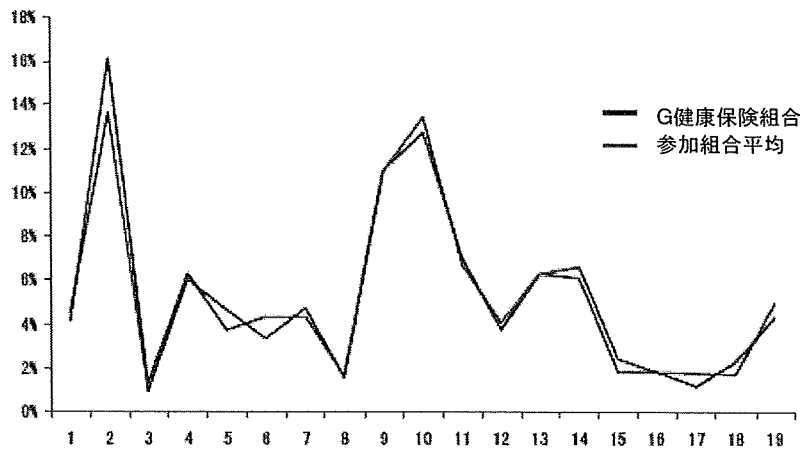


## H 健康保険組合の基本情報

平均年齢（被保/ 被扶）: n=22,590



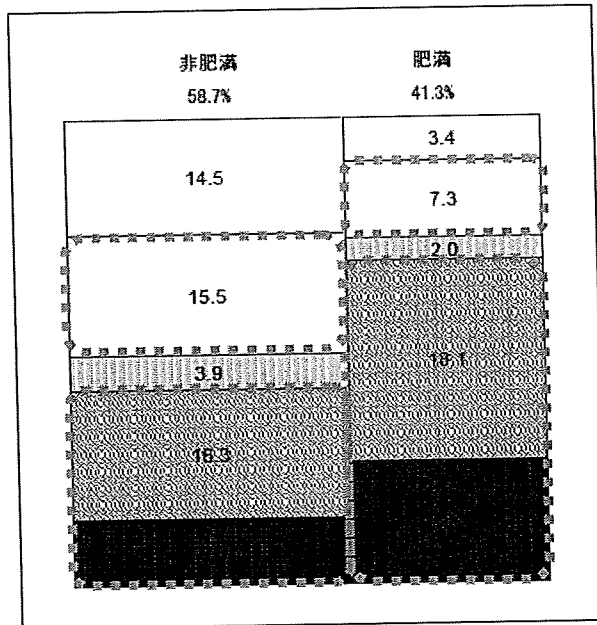
疾病分類別医療費



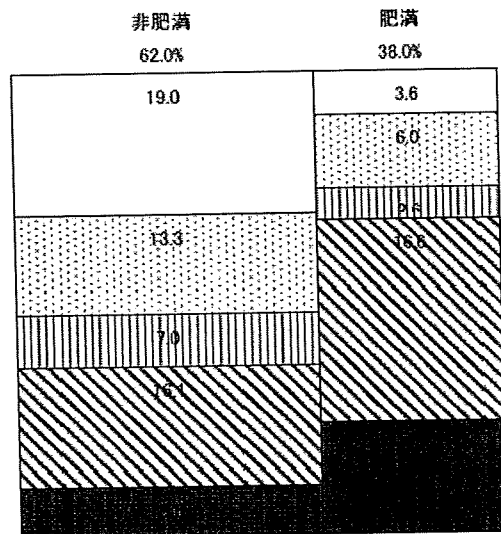
|    |                      |    |                                 |
|----|----------------------|----|---------------------------------|
| 1  | 感染症及び寄生虫症            | 11 | 消化器系の疾患                         |
| 2  | 新生物                  | 12 | 皮膚及び皮下組織の疾患                     |
| 3  | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 13 | 筋骨格系及び結合組織の疾患                   |
| 4  | 内分泌、栄養及び代謝疾患         | 14 | 腎尿路生殖器系の疾患                      |
| 5  | 精神及び行動の障害            | 15 | 妊娠、分娩及び産じょく                     |
| 6  | 神経系の疾患               | 16 | 周産期に発生した病態                      |
| 7  | 眼及び付属器の疾患            | 17 | 先天奇形、変形及び染色体異常                  |
| 8  | 耳及び乳突突起の疾患           | 18 | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| 9  | 循環器系の疾患              | 19 | 損傷、中毒及びその他の外因の影響                |
| 10 | 呼吸器系の疾患              |    |                                 |

なお疾病分類番号 11 に含まれる「う蝕」は健保によって集計基準が異なるため、比較に際して除いた形で集計している

## H 健康保険組合における健康分布



\* 参加組合平均での健康分布

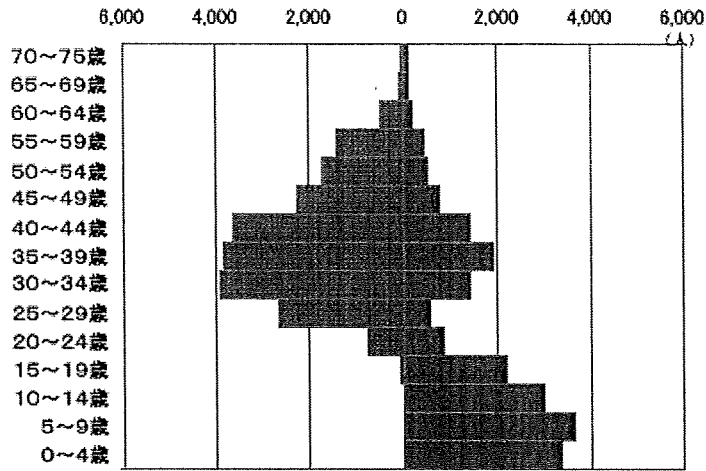


当該健保組合は、参加組合平均と比較すると肥満の割合が高く、肥満、非肥満ともに低リスク者および高リスク者を多く抱えており、30代後半および50代後半に被保険者のボリュームゾーンがある。

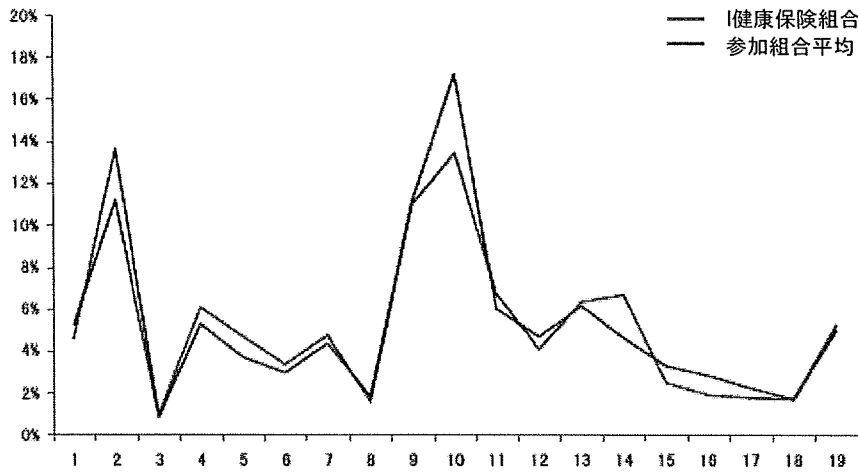
- ・高リスク者対策；肥満・非肥満の高リスク者の行動変容（受診勧奨の徹底）が必要
- ・メタボリックシンドローム対策；若年層からの意識啓発（情報提供）と行動変容（罹患防止およびメタボ改善）を重視
- ・被保険者全体の意識啓発；リスクがない者が15%程度であることから、被保険者全体への意識啓発が課題

# I 健康保険組合の基本情報

平均年齢 (被保/ 被扶): 39.4/ 21.2 歳 n=41,486



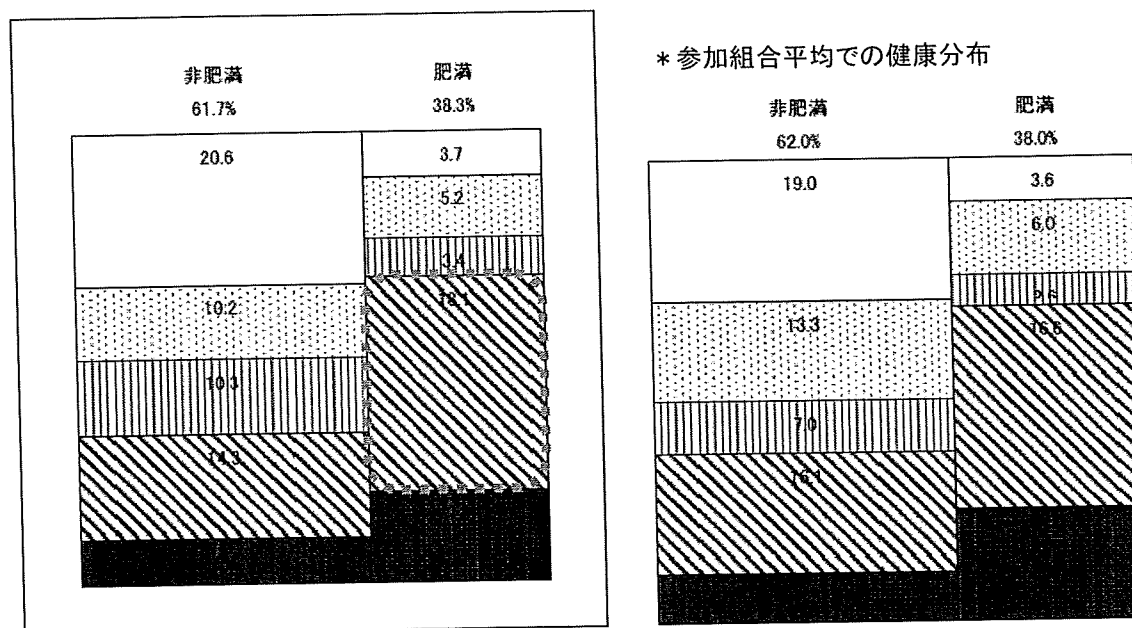
疾病分類別医療費



|    |                      |    |                                 |
|----|----------------------|----|---------------------------------|
| 1  | 感染症及び寄生虫症            | 11 | 消化器系の疾患                         |
| 2  | 新生物                  | 12 | 皮膚及び皮下組織の疾患                     |
| 3  | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 13 | 筋骨格系及び結合組織の疾患                   |
| 4  | 内分泌、栄養及び代謝疾患         | 14 | 腎尿路生殖器系の疾患                      |
| 5  | 精神及び行動の障害            | 15 | 妊娠、分娩及び産後                       |
| 6  | 神経系の疾患               | 16 | 周産期に発生した病態                      |
| 7  | 眼及び付属器の疾患            | 17 | 先天奇形、変形及び染色体異常                  |
| 8  | 耳及び乳様突起の疾患           | 18 | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| 9  | 循環器系の疾患              | 19 | 損傷、中毒及びその他の外因の影響                |
| 10 | 呼吸器系の疾患              |    |                                 |

なお疾病分類番号 11 に含まれる「う蝕」は健保によって集計基準が異なるため、比較に際して除いた形で集計している

## I 健康保険組合における健康分布

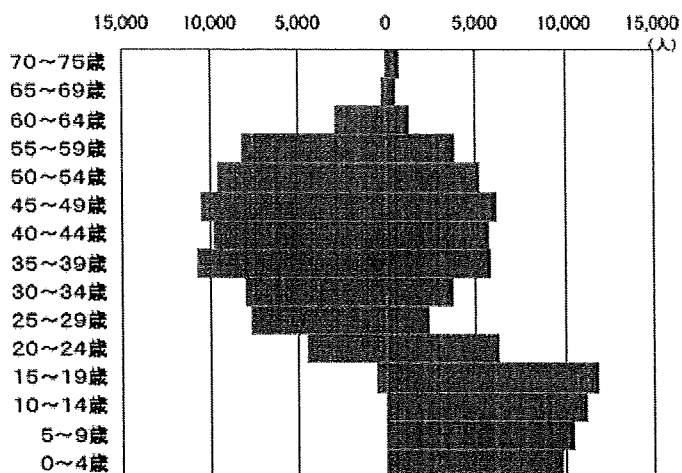


当該健保組合は、参加組合平均と比較するとリスクがない被保険者の割合がやや高いが、肥満の高リスク者が多い。被保険者は30代の割合が最も高いことから、中期的な生活習慣病対策の重要性がうかがえる。

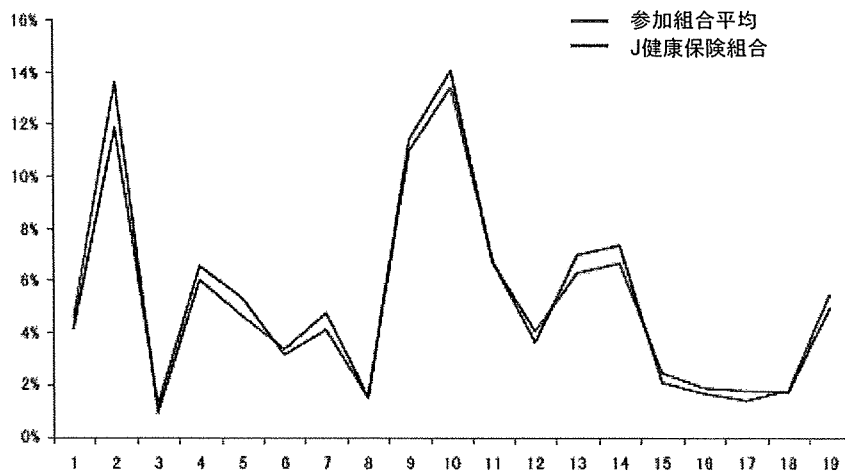
- ・高リスク者対策；肥満かつ高リスク者の行動変容（受診勧奨の徹底）が必要
- ・メタボリックシンドローム対策；若年層からの意識啓発（情報提供）および行動変容（罹患防止）を重視

## J健康保険組合の基本情報

平均年齢（被保/被扶）：41.8/25.2歳 n=157,176



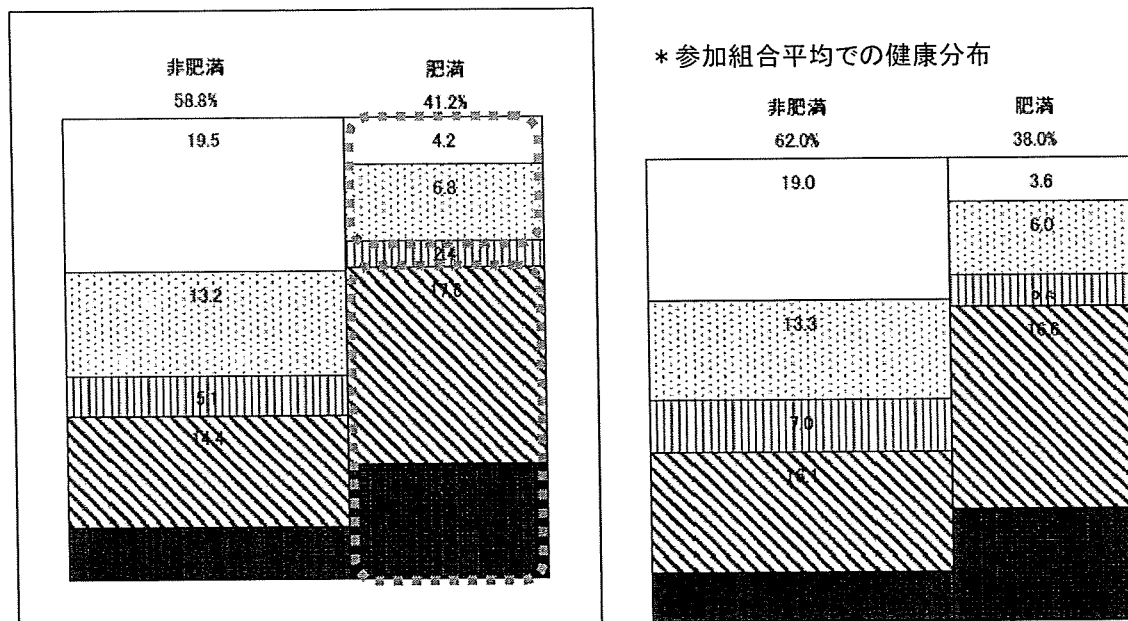
### 疾病分類別医療費



|    |                      |    |                                 |
|----|----------------------|----|---------------------------------|
| 1  | 感染症及び寄生虫症            | 11 | 消化器系の疾患                         |
| 2  | 新生物                  | 12 | 皮膚及び皮下組織の疾患                     |
| 3  | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 13 | 筋骨格系及び結合組織の疾患                   |
| 4  | 内分泌、栄養及び代謝疾患         | 14 | 腎尿路生殖器系の疾患                      |
| 5  | 精神及び行動の障害            | 15 | 妊娠、分娩及び産じょく                     |
| 6  | 神経系の疾患               | 16 | 周産期に発生した病態                      |
| 7  | 眼及び付属器の疾患            | 17 | 先天奇形、変形及び染色体異常                  |
| 8  | 耳及び乳様突起の疾患           | 18 | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| 9  | 循環器系の疾患              | 19 | 損傷、中毒及びその他の外因の影響                |
| 10 | 呼吸器系の疾患              |    |                                 |

なお疾病分類番号 11 に含まれる「う蝕」は健保によって集計基準が異なるため、比較に際して除いた形で集計している

J健康保険組合における健康分布

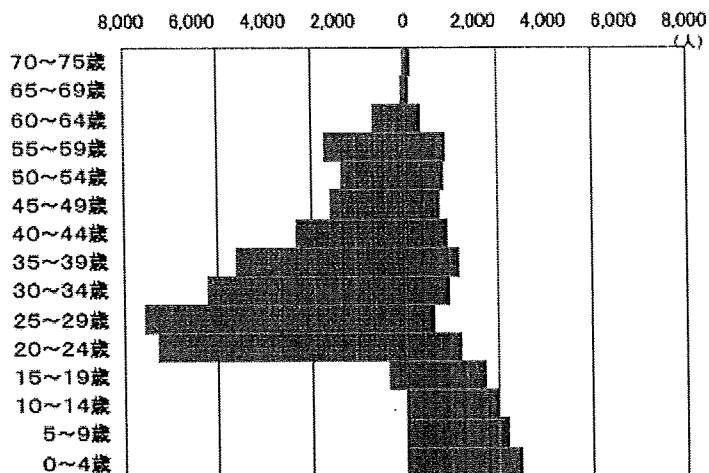


当該健保組合は、参加組合平均と比較すると肥満の割合が高く、被保険者の平均年齢はやや高くなっている。

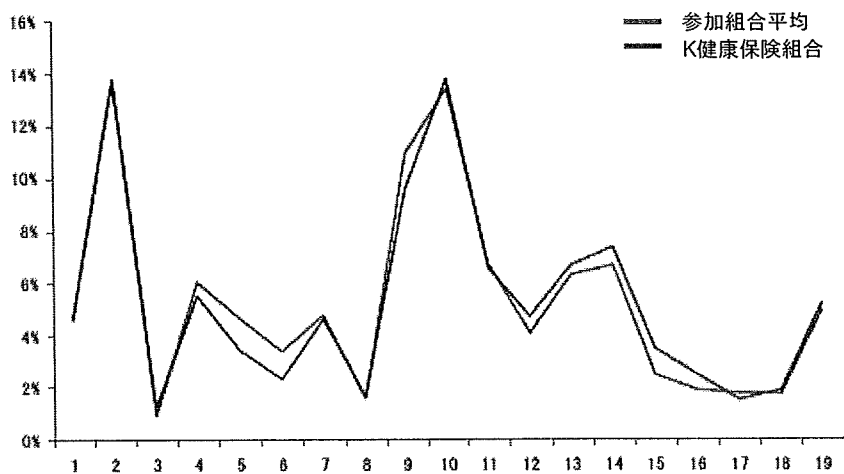
- ・高リスク者対策；高リスク者への行動変容（受診勧奨の徹底）が必要
- ・メタボリックシンドローム対策；軽度肥満を含め肥満が多く、最も割合が高い30代後半からの意識啓発（情報提供）と行動変容（罹患防止およびメタボ改善）を重視

## K 健康保険組合の基本情報

平均年齢 (被保/ 被扶): 34.7/ 24.2 歳 n=57,242



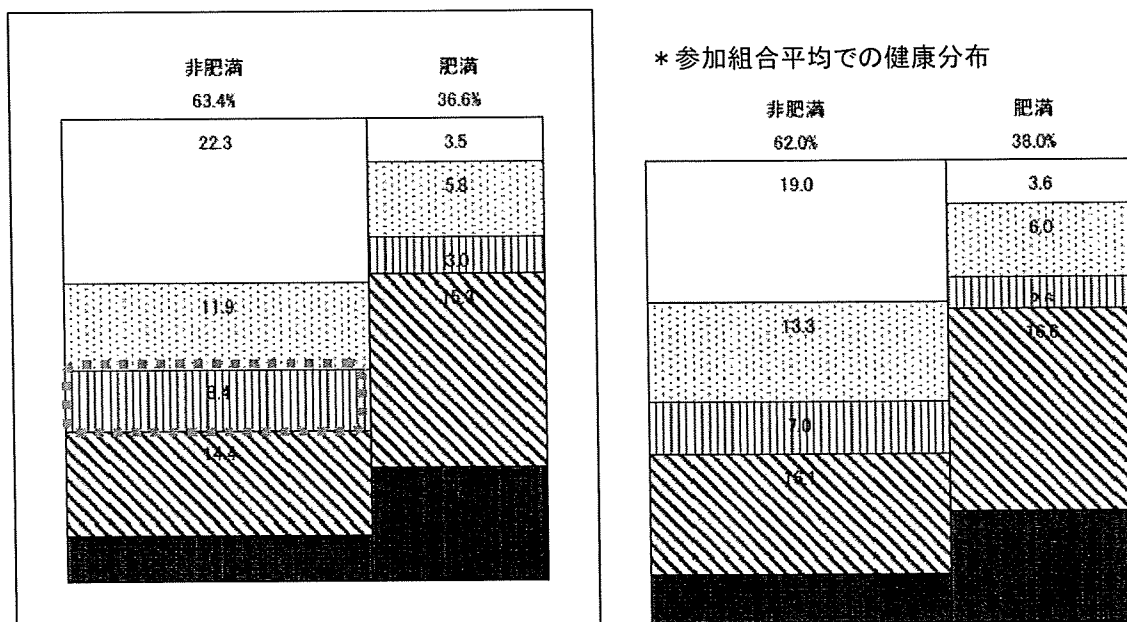
### 疾病分類別医療費



|    |                      |    |                                 |
|----|----------------------|----|---------------------------------|
| 1  | 感染症及び寄生虫症            | 11 | 消化器系の疾患                         |
| 2  | 新生物                  | 12 | 皮膚及び皮下組織の疾患                     |
| 3  | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 13 | 筋骨格系及び結合組織の疾患                   |
| 4  | 内分泌、栄養及び代謝疾患         | 14 | 腎尿路生殖器系の疾患                      |
| 5  | 精神及び行動の障害            | 15 | 妊娠、分娩及び産じょく                     |
| 6  | 神経系の疾患               | 16 | 周産期に発生した病態                      |
| 7  | 眼及び付属器の疾患            | 17 | 先天奇形、変形及び染色体異常                  |
| 8  | 耳及び乳様突起の疾患           | 18 | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| 9  | 循環器系の疾患              | 19 | 損傷、中毒及びその他の外因の影響                |
| 10 | 呼吸器系の疾患              |    |                                 |

なお疾病分類番号 11 に含まれる「う蝕」は健保によって集計基準が異なるため、比較に際して除いた形で集計している

## K 健康保険組合における健康分布



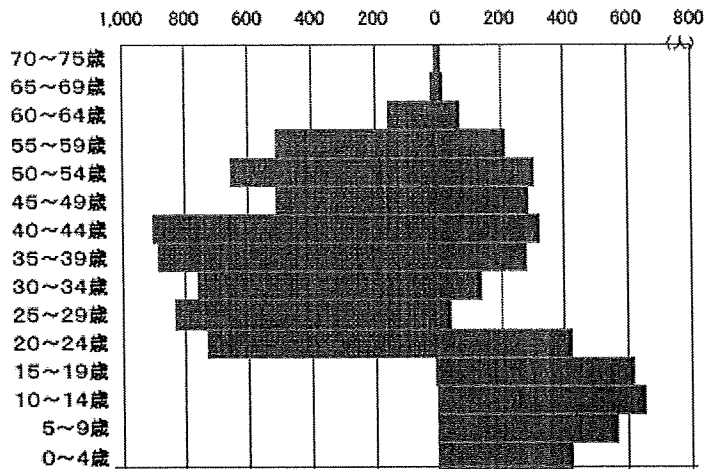
当該健保組合は、参加組合平均と比較すると若年の女性の割合が高い特徴もあり、非肥満の冠動脈疾患以外のリスク者の割合がやや高くなっている。

- ・やせのリスク者対策；リスクに対する意識啓発（情報提供）が必要
- ・メタボリックシンドローム対策；肥満者が比較的少ないことから、対象を絞った重点的な行動変容（メタボ改善）が効果的

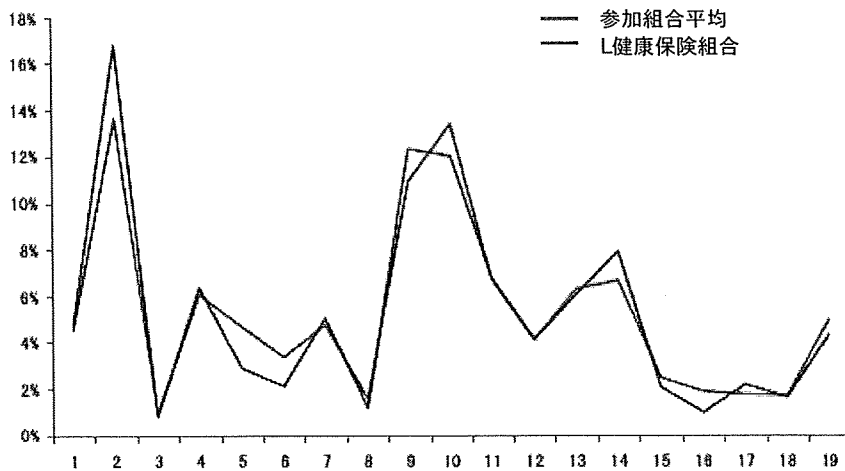


## L 健康保険組合の基本情報

平均年齢（被保/ 被扶）： 38.3/ 25.1 歳 n=10,336



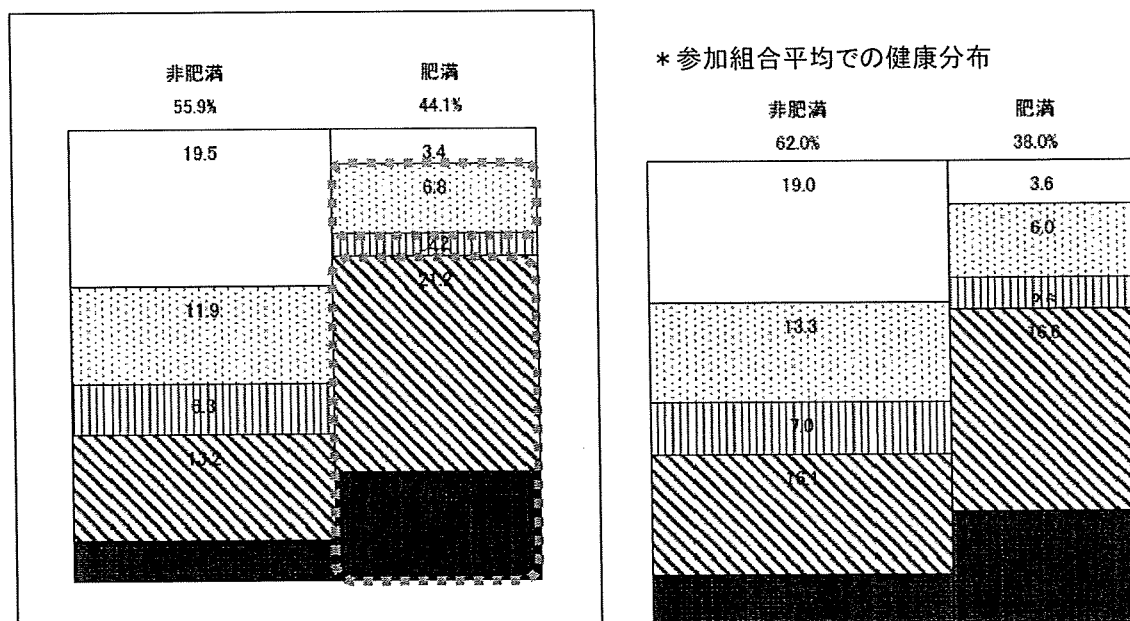
疾病分類別医療費



|    |                      |    |                                 |
|----|----------------------|----|---------------------------------|
| 1  | 感染症及び寄生虫症            | 11 | 消化器系の疾患                         |
| 2  | 新生物                  | 12 | 皮膚及び皮下組織の疾患                     |
| 3  | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 13 | 筋骨格系及び結合組織の疾患                   |
| 4  | 内分泌、栄養及び代謝疾患         | 14 | 腎尿路生殖系系の疾患                      |
| 5  | 精神及び行動の障害            | 15 | 妊娠、分娩及び産じょく                     |
| 6  | 神経系の疾患               | 16 | 周産期に発生した病態                      |
| 7  | 眼及び付属器の疾患            | 17 | 先天奇形、変形及び染色体異常                  |
| 8  | 耳及び乳様突起の疾患           | 18 | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| 9  | 循環器系の疾患              | 19 | 損傷、中毒及びその他の外因の影響                |
| 10 | 呼吸器系の疾患              |    |                                 |

なお疾病分類番号 11 に含まれる「う蝕」は健保によって集計基準が異なるため、比較に際して除いた形で集計している

## L 健康保険組合における健康分布

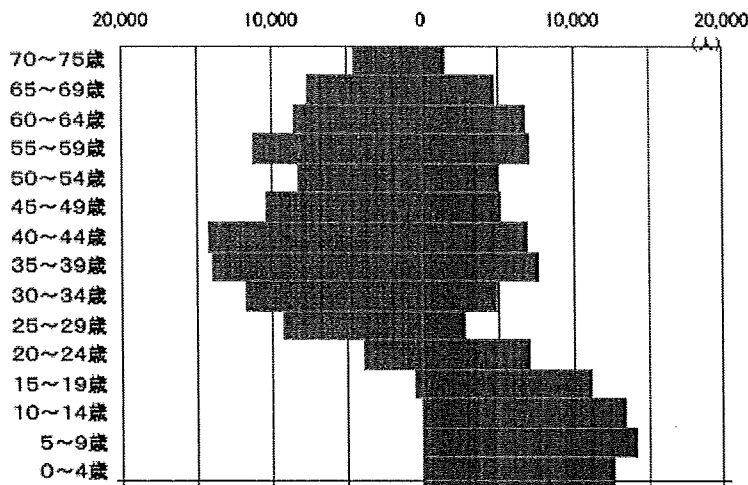


当該健保組合は、参加組合平均と比較すると肥満の割合が高く、低リスク者および高リスク者を多く抱えていることから、潜在的な高医療費組合である可能性が考えられる。循環器や腎不全などの医療費は既に顕在化している。

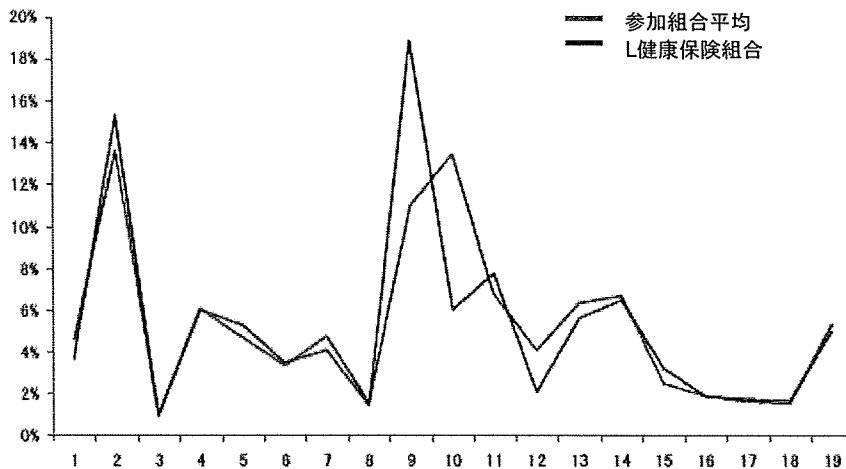
- ・高リスク者対策；肥満かつ高リスク者の行動変容（受診勧奨の徹底）が必要
- ・メタボリックシンドローム対策；軽度肥満も多く、40歳前後が被保険者のボリュームゾーンであることから、若年層からの意識啓発（情報提供）と行動変容（罹患防止およびメタボ改善）を重視

## M 健康保険組合の基本情報

平均年齢（被保/ 被扶）： 45.7/ 28.8 歳 n=215,199



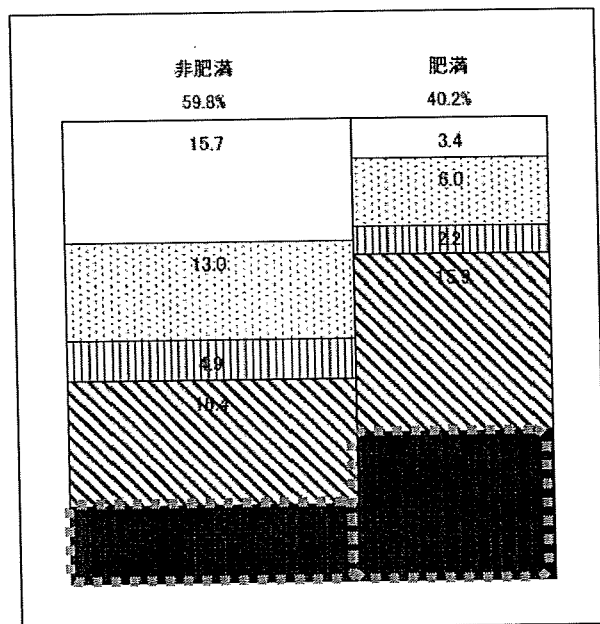
： 疾病分類別医療費



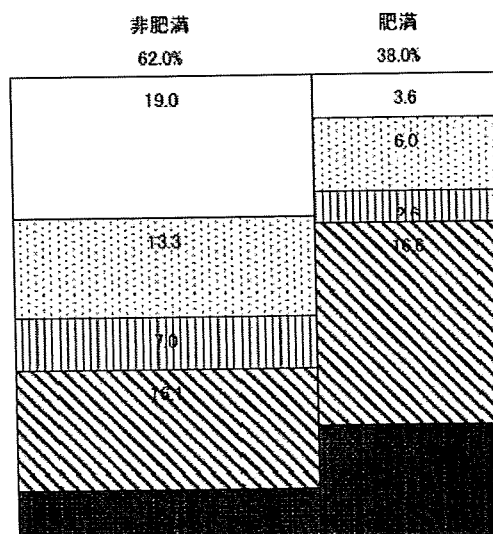
|    |                      |    |                                 |
|----|----------------------|----|---------------------------------|
| 1  | 感染症及び寄生虫症            | 11 | 消化器系の疾患                         |
| 2  | 新生物                  | 12 | 皮膚及び皮下組織の疾患                     |
| 3  | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 13 | 筋骨格系及び結合組織の疾患                   |
| 4  | 内分泌、栄養及び代謝疾患         | 14 | 腎尿路生殖器系の疾患                      |
| 5  | 精神及び行動の障害            | 15 | 妊娠、分娩及び産じょく                     |
| 6  | 神経系の疾患               | 16 | 周産期に発生した病態                      |
| 7  | 眼及び付属器の疾患            | 17 | 先天奇形、変形及び染色体異常                  |
| 8  | 耳及び乳様突起の疾患           | 18 | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| 9  | 循環器系の疾患              | 19 | 損傷、中毒及びその他の外因の影響                |
| 10 | 呼吸器系の疾患              |    |                                 |

なお疾病分類番号 11 に含まれる「う蝕」は健保によって集計基準が異なるため、比較に際して除いた形で集計している

M 健康保険組合における健康分布



\* 参加組合平均での健康分布



当該健保組合は、参加組合平均と比較すると特退制度を有しているため被保険者の平均年齢が高く、肥満者の割合が高く、循環器などの医療費は既に高くなっている。

- ・重症化防止対策；生活習慣病の被保険者の行動変容（服薬コンプライアンス、生活習慣改善の継続）を重視
- ・メタボリックシンドローム対策；40歳前後が被保険者のボリュームゾーンであることから、若年層からの意識啓発（情報提供）と行動変容（罹患防止およびメタボ改善）を重視